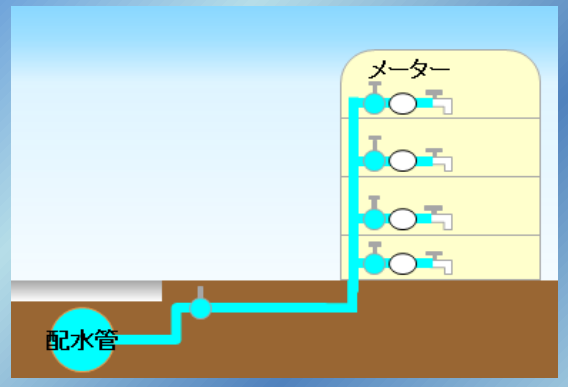
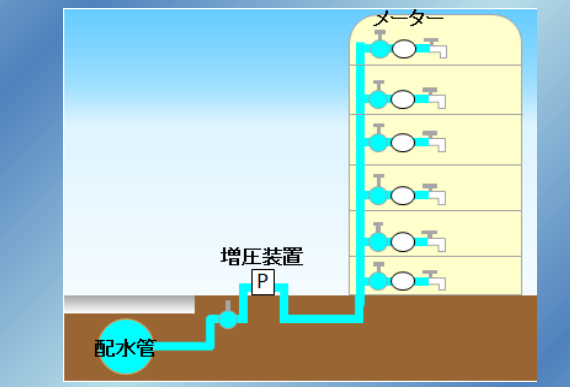
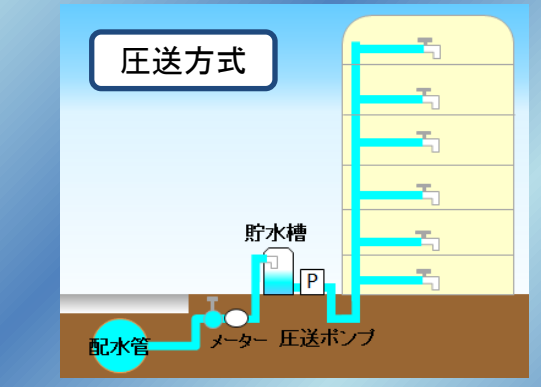
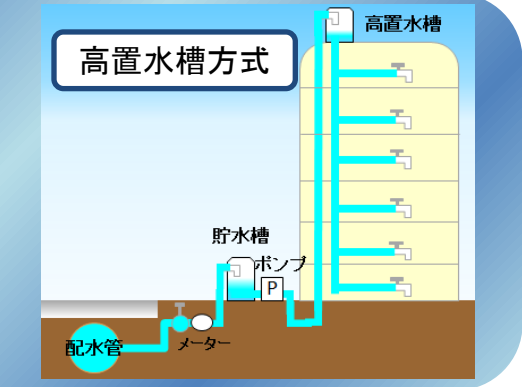


## 直結直圧方式

## 直結増圧方式

## 貯水槽方式

模式図				
特徴	配水管の水圧を利用して直接給水	給水管の途中に増圧装置を設置して直接給水	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貯水槽に受水したのち、ポンプによって給水(圧送方式)</li> <li>・貯水槽に受水したのち、ポンプでさらに高置水槽に汲み上げ、自然流下により給水(高置水槽方式)</li> </ul>	
長所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水質の劣化が生じず、<b>安全で良質な水の供給が可能</b></li> <li>・配水管の水圧を有効利用することで貯水槽方式に比べて<b>省エネルギー</b></li> <li>・貯水槽の設置スペースが不要</li> <li>・貯水槽の定期的な清掃、点検等が不要</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・配水管断水時や災害時にも<b>ある程度給水の確保が可能</b></li> <li>・一時的に<b>多量の水の使用</b>が可能</li> </ul>	
留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配水管が断水した場合や増圧装置が故障した場合は<b>給水が停止</b></li> <li>・濁水に伴う減圧給水時には<b>出水不良</b>が生じる可能性があります</li> <li>・災害等の非常時のための<b>水のストックができません</b></li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・貯水槽、ポンプ設備等の<b>設置スペースや設置費用が必要</b></li> <li>・貯水槽、ポンプ設備等の<b>定期的な保守管理が必要</b></li> <li>・貯水槽の<b>定期的な清掃や水質検査</b>が必要で、貯水槽の管理が悪いと水質劣化を招く可能性があります</li> </ul>	
適用条件 ※1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給水する建物が地上<b>4階建</b>まで</li> <li>・設置する給水栓の高さが配水管布設面から<b>12m以下</b></li> <li>・共同住宅でファミリー<b>25戸</b>、単身者<b>40戸</b>程度まで</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給水する建物が地上<b>15階程度</b>まで</li> <li>・共同住宅(住居専用)でファミリー<b>150戸</b>、単身者<b>150戸</b>まで</li> </ul>	<p>すでに貯水槽を設置している建物でも<b>貯水槽方式から直結直圧方式や直結増圧方式への改造工事</b>が行える可能性があります(※2)</p>	

(※1) 配水管布設状況や水圧等により適用条件が上記とは異なり、直結方式に対応できない場合があります。詳しくは給水装置工事施行指針でご確認ください。また、以下の建物は直結方式の対象とはならず、貯水槽方式での給水となります。

- ・瞬時水量が必要な建物
- ・災害、事故等による断減水時にも給水の確保が必要な建物(病院・ホテル等)
- ・毒物、劇物、薬品等の危険な化学物質を取り扱う建物(薬品工場等)

(※2) 貯水槽方式から直結方式への改造工事について

直結方式の適用条件を満たした建物や施設については、貯水槽方式から直結方式への改造も行える可能性があります。

ただし、改造工事に要する費用はお客様負担となり、また**工事着工前**に堺市上下水道局給排水設備課に**給水装置工事等事前協議**及び**給水装置工事申込**が必要です。

施行については**市指定給水装置工事業者**へご依頼ください。